

7番 藤森 弘です。

議案第55号 令和4年度 岡谷市一般会計歳入歳出決算認定について、会派「おかや未来研究室」を代表して、賛成の立場から意見を申し上げます。

令和4年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に全庁を挙げて取り組んでいただいた年でした。社会経済活動に緩やかな持ち直しの兆しが見え始めた矢先に、ロシアのウクライナ侵攻に起因する原油高や原材料高に見舞われ、本市の基幹産業である製造業も大きな影響を受けることになりました。

こうした逆風の中、国庫補助金などを有効に活用して、効率的かつ効果的な予算執行に努めていただいた結果、令和4年度の実質収支額が約7億6千万円もの黒字計上となりました。

また、歳入の根幹である市税収入が前年度比で約3億円上回ったほか、基金は前年度比で約9億円もの積み増しとなりました。その一方で市債残高は前年度比で約5億円減少しており、総体的に堅実な財政運営に尽力されたことは評価に値します。

市民生活を守るため、さまざまな施策や事業に取り組んでいただいた理事者や市職員の皆様には心より敬意を表します。

厳しい財政状況の中で、「第5次岡谷市総合計画」の4年目として「人結び、夢と希望を紡ぐ、たくましいまち岡谷」の実現に向けて取り組んでいただいた訳ですが、決算審査を通じていくつかの今後の課題も見えて来ました。

① 移住・定住につながる情報発信力の強化

- ② 最新のデジタル技術によるシルキーバスや福祉タクシーの利便性向上
- ③ 役員のなり手不足や収入減少に苦しむ地域コミュニティの支援策強化
- ④ ひとり暮らし世帯の避難誘導など地域防災力の強化
- ⑤ 医療と福祉の連携による健康維持体制の整備
- ⑥ 教員の働き方改革・部活動の地域移行・電子図書館の充実など教育・学習環境の改善
- ⑦ 空き家や空き地の有効な利活用策の研究
- ⑧ 子育て支援策の予算拡充

・・・など、今後の課題は枚挙にいとまがありません。

公正・公平の観点はもとより、健全財政の保持に配慮しつつも、費用対効果をしっかりと検証した上で、時代の変化やニーズに的確に対応した「投資的事業」にも今後は積極的に取り組んでいただきたいと思います。

新市長のもと、市民の誰もが安全かつ安心して暮らせる、新たな岡谷市の構築に全力で取り組んでいただくことを要望して、本議案に賛成いたします。